

Pioneer DJM-850

「TRAKTOR SCRATCH 2」 接続ガイド

目次

はじめに.....	1
アナログプレーヤーでスクラッチコントロール機能を使う.....	3
CDJでスクラッチコントロール機能を使う.....	10

はじめに

DJM-850 は、本機とコンピュータを USB ケーブル 1 本で接続することで、TRAKTOR^{※1} の 4 つのデッキ（プレーヤー）のコントロール（入力 4 系統・出力 4 系統のステレオ音声信号を同時に入出力可能）や、本機に内蔵された USB サウンドカードで音声を入出力するなど、TRAKTOR と組み合わせたさまざまな DJ プレイをお楽しみいただけます。また、楽曲の録音、制作などにも対応しています。

さらに本機は TRAKTOR SCRATCH 2 の認定ミキサー^{※2}ですので、TRAKTOR SCRATCH 2 とタイムコードディスク^{※3}を新たに準備することで、使い慣れたアナログプレーヤー（ターンテーブル）や CDJ でデジタル音楽ファイルを操作できる DVS（Digital Vinyl System）が利用可能になります。

TRAKTOR をお持ちでないお客様は、TRAKTOR SCRATCH 2 認定ミキサー用のアップグレードキット「TRAKTOR SCRATCH PRO 2 CERTIFIED UPGRADE」を準備してください。

詳しくは Native Instruments 社のアップグレードに関するホームページをご確認ください。

<http://www.native-instruments.com/#/jp/products/dj/traktor-scratch-pro-2/?page=2068>

http://www.dirigent.jp/products/detail.php?product_id=55

※1 Native Instruments 社の DJ ソフトウェアです。

※2 Native Instruments 社 TRAKTOR SCRATCH 2 の認証プログラムに合格した高性能サウンドカード内蔵の DJ ミキサーを指します。DJM-850 を認定ミキサーとして接続・使用できる TRAKTOR ソフトウェアは、TRAKTOR SCRATCH PRO 2/ DUO 2 です。

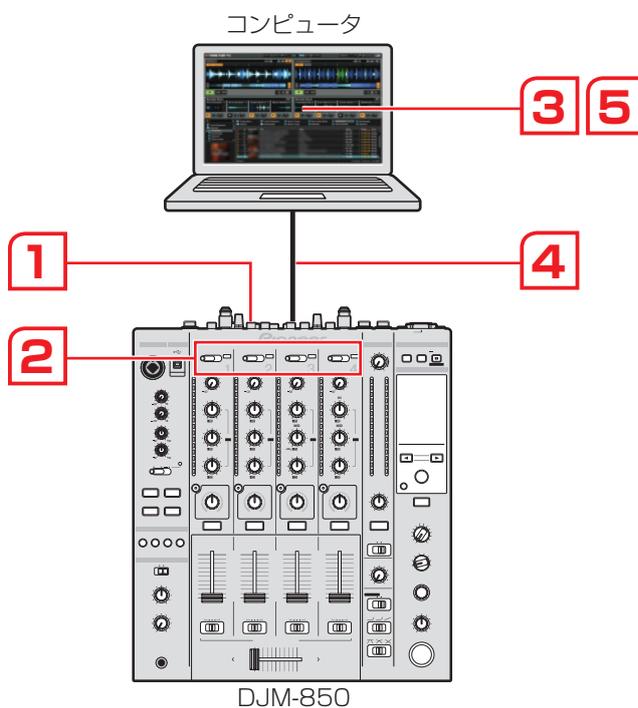
※3 DVS（Digital Vinyl System）の構成に必要なタイムコードが収録された特殊な CD/ レコードです。

本書では、DJM-850 を TRAKTOR SCRATCH 2 認定ミキサーとして使用するためのシステム構築の手順を、アナログプレーヤーを使用する場合と CDJ を使用する場合に分けて説明しています。

コンピュータの対応 OS は Windows と Mac OS ですが、一部で手順が異なる場合があります。文章中に **Windows** **Mac OS** を表示していますので、それぞれの手順に従ってください。

システム構築は、以下の流れで行ないます。

- 1** プレーヤーとの接続
- ↓
- 2** 各 CH の入力切り換え
([CD/ LINE, PHONO, LINE, USB */*] 切
換スイッチ)
- ↓
- 3** DJM-850 の出力設定
(設定ユーティリティソフトウェア)
- ↓
- 4** コンピュータとの接続
- ↓
- 5** TRAKTOR の入力設定・出力設定
(TRAKTOR SCRATCH 2)



アナログプレーヤーでスクラッチコントロール機能を使う

機器の接続

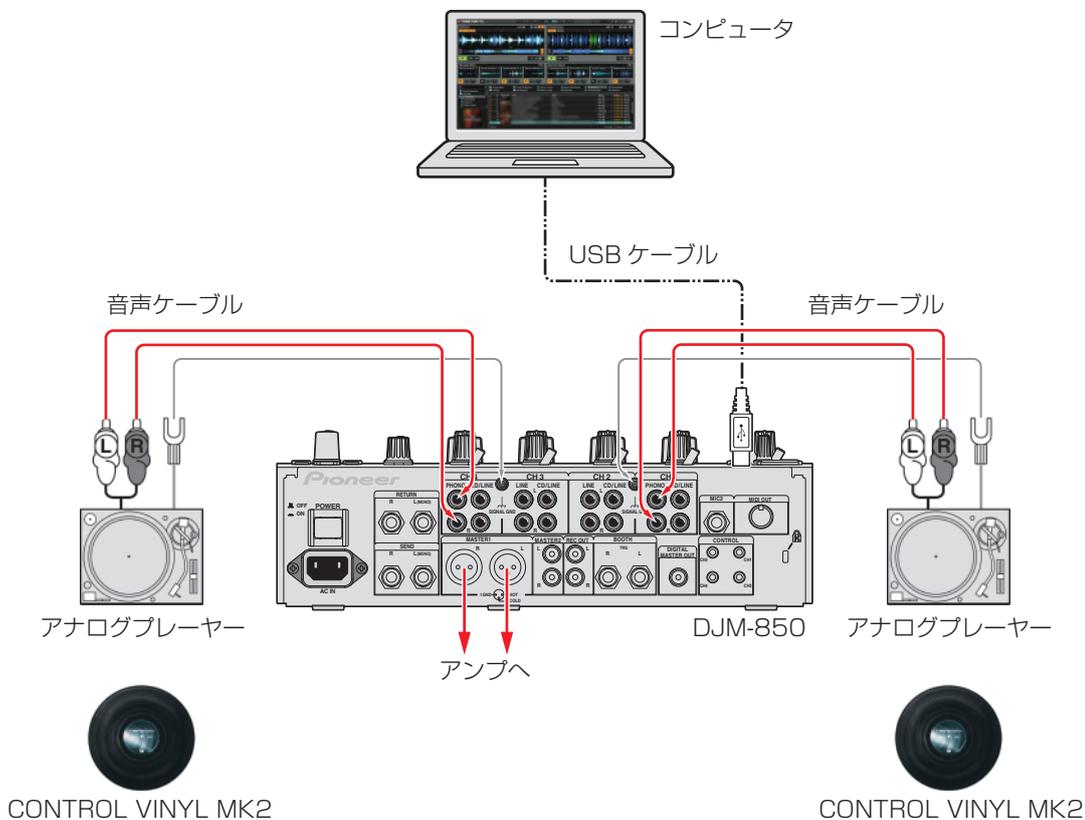
DJM-850は最大2台のアナログプレーヤーを接続できますが、ここでは2台を接続する場合を基本に説明します。

1 DJM-850に2台のアナログプレーヤーを接続します。

DJM-850のCH1 PHONO端子、CH4 PHONO端子とそれぞれのアナログプレーヤーのPHONO出力端子を音声ケーブルで接続してください。

 DJM-850のCH2とCH3は、アナログプレーヤーを接続できません。

2 機材の電源はまだ入れないでください。また、「DJM-850 設定ユーティリティ」の設定 (P.4) で DJM-850 のドライバソフトウェアをインストールするまで、DJM-850 とコンピュータは接続しないでください。

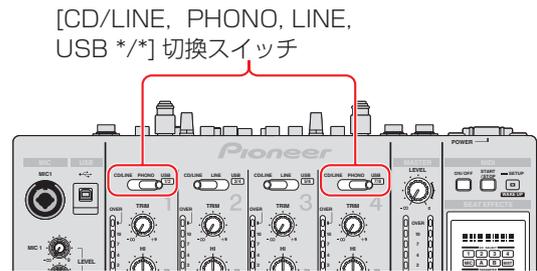


準備する機材

- TRAKTOR SCRATCH 2 がインストールされたコンピュータ
- DJM-850
- アナログプレーヤー (ターンテーブル) (×2)
- CONTROL VINYL MK2 (×2)
- USB ケーブル (DJM-850 に付属)
- 音声ケーブル (赤白ピン)
- ドライバソフトウェア CD-ROM (DJM-850 に付属)
- TRAKTOR マニュアル (TRAKTOR SCRATCH 2 に付属)

DJM-850 の入力切り換え

- 1 「機器の接続」で接続した CH1 と CH4 の [CD/LINE, PHONO, LINE, USB */*] 切換スイッチを [USB] に切り換えてください。



「DJM-850 設定ユーティリティ」の設定

- 1 コンピュータの電源をオンにします。

 TRAKTOR SCRATCH 2 を事前にインストールしてください。インストールの方法は、TRAKTOR マニュアルを参照してください。

- 2 DJM-850 に付属のドライバソフトウェア CD-ROM から、DJM-850 のドライバソフトウェアをコンピュータにインストールします。

DJM-850 専用のドライバソフトウェアと設定ユーティリティソフトウェアがインストールされます。インストールの方法は、DJM-850 取扱説明書の「ドライバソフトウェアおよび設定ユーティリティソフトウェアについて」を参照してください。

- 3 コンピュータと DJM-850 を付属の USB ケーブルで接続します。

- 4 DJM-850、アナログプレーヤーの電源をオンにします。コンピュータ上で自動的に設定ユーティリティが起動します。

 自動的に設定ユーティリティが起動しない場合は、以下の操作で起動してください。

Windows

[スタート] メニュー > [すべてのプログラム] > [Pioneer] > [DJM-850] > [DJM-850 設定ユーティリティ] をクリックします。

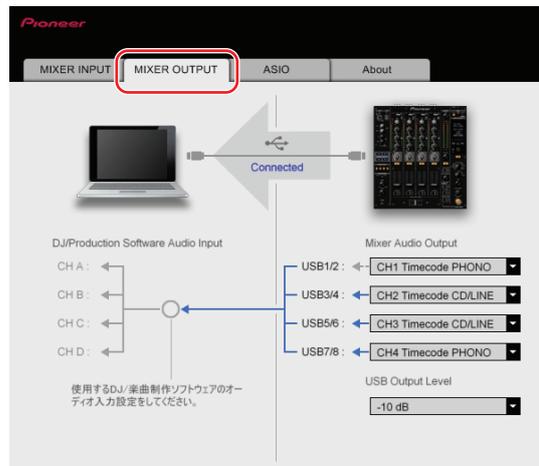
Mac OS

[Macintosh HD] アイコン > [Application] > [Pioneer] > [DJM-850] > [DJM-850 設定ユーティリティ] をクリックします。

- 5 DJM-850 の各チャンネルからコンピュータへ送信する信号を設定します。

- ① [MIXER OUTPUT] タブをクリックします。

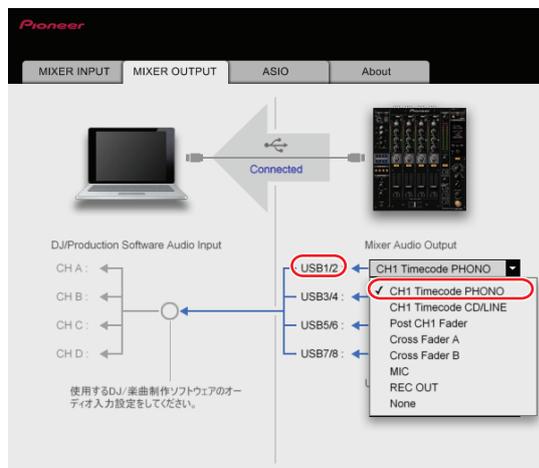
設定ユーティリティ



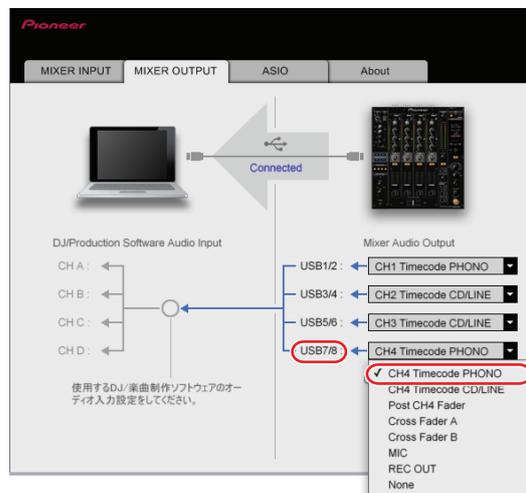
② [Mixer Audio Output] の設定で、USB1/2 に [CH1 Timecode PHONO]、USB7/8 に [CH4 Timecode PHONO] を選択します。

 DJM-850 の CH2 と CH3 は、アナログプレーヤーを接続できません。

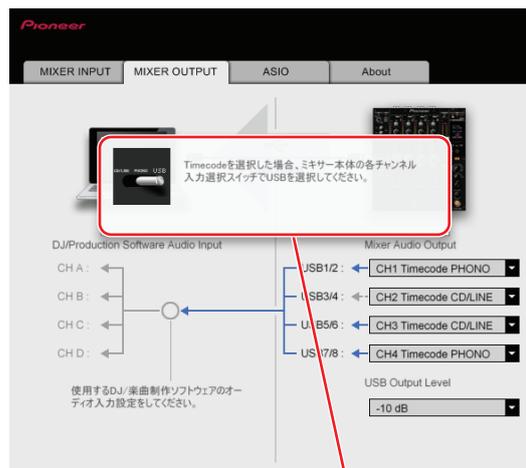
USB1/2



USB7/8

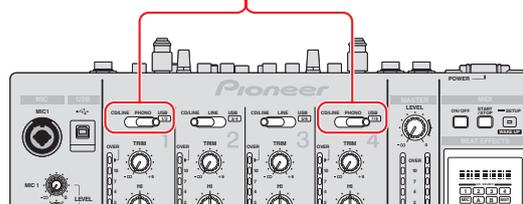


 選択時に右図のようなポップアップ画面が表示されたら、DJM-850 の [CD/LINE, PHONO, LINE, USB */*] 切換スイッチを [USB] に切り換えてください。



ポップアップ画面

[CD/LINE, PHONO, LINE, USB */*] 切換スイッチ



TRAKTOR SCRATCH 2 の設定

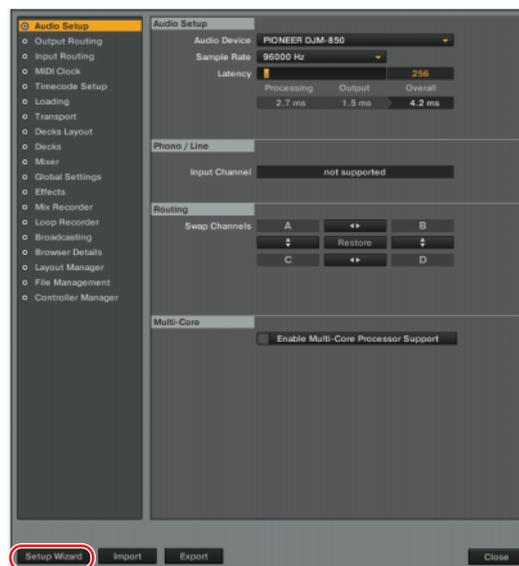
1 Setup Wizard を用いて設定します。

- ① TRAKTOR SCRATCH 2 を起動し、右図の [Preference] アイコンをクリックします。



Preference アイコン

- ② Preferences 画面左下の [Setup Wizard] をクリックし、Setup Wizard を開きます。



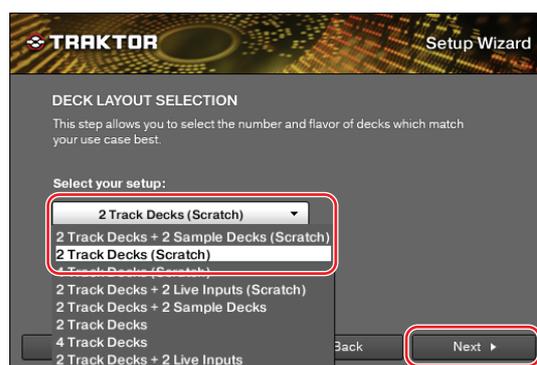
- ③ 画面右下の [Next] をクリックします。



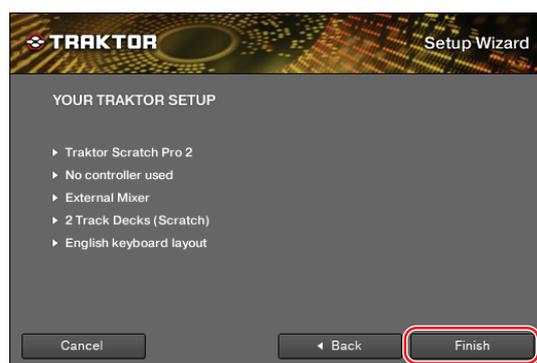
- ④ HARDWARE CONTROLLER SETUP 画面が表示されます。ここではいったん、プルダウンメニューの中から [No] を選択し、[Next] をクリックします。



- ⑤ DECK LAYOUT SELECTION 画面が表示されます。プルダウンメニューの中から末尾に (Scratch) と表記されているものを選択し、[Next] をクリックします。



- ⑥ Setup Wizard を完了します。[Finish] をクリックします。



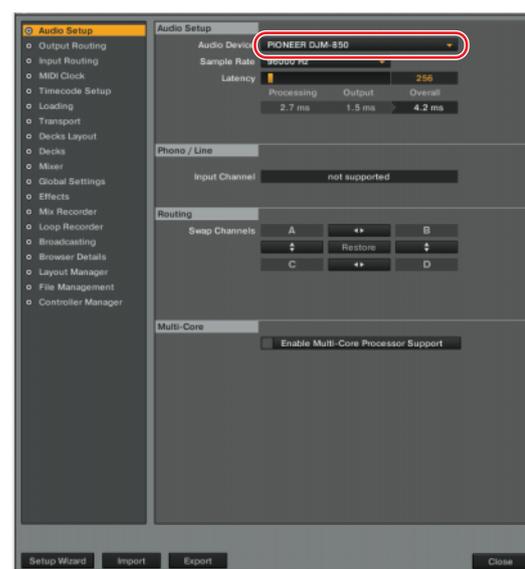
2 Audio Device を設定します。

[Audio Setup] をクリックし、Audio Device のプルダウンメニューから以下を選択します。

Windows [PIONEER DJM-850 ASIO] を選択してください。

Mac OS [PIONEER DJM-850] を選択してください。

 Sample Rate と Latency は適宜設定してください。



3 各チャンネルの出力先を設定します。

- ① [Output Routing] をクリックし、[Mixing Mode] で [External] が選択されていることを確認します。
- ② 各 Deck の音声を出力するチャンネルをプルダウンメニューから選択します。

Output Deck A

Windows Lch[DJM-850 OUT1]、Rch[DJM-850 OUT2] を選択してください。

Mac OS Lch[DJM-850 OUT0]、Rch[DJM-850 OUT1] を選択してください。

Output Deck B

Windows Lch[DJM-850 OUT7]、Rch[DJM-850 OUT8] を選択してください。

Mac OS Lch[DJM-850 OUT6]、Rch[DJM-850 OUT7] を選択してください。



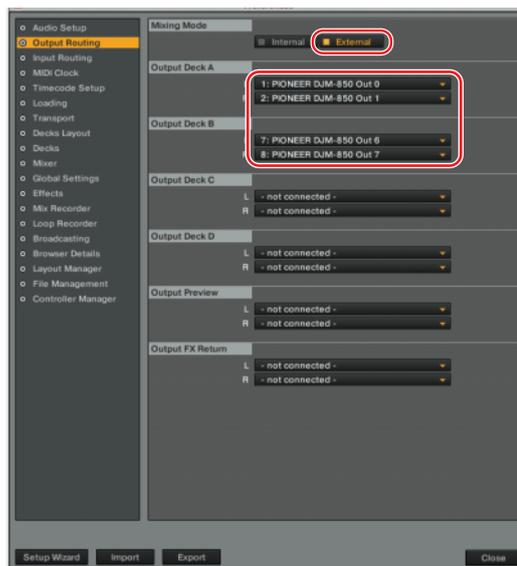
TRAKTOR の他の Deck の楽曲をスクラッチコントロールしたい場合：

上記②の設定を、Output Deck C と Output Deck D で設定してください。その場合、Output Deck A と Output Deck B は [not connected] を選択します。



次の手順で設定する各 Deck の入力元チャンネル (IN x/y) は、ここで設定した出力先チャンネル (OUT x/y) と同じものを選択してください。

例えば Output Deck C に [DJM-850 OUT 1/2] を設定した場合は、Input Deck C に [DJM-850 IN 1/2] を設定してください。



4 各チャンネルの入力元を設定します。

[Input Routing] をクリックし、各 Deck に入力するチャンネルをプルダウンメニューから選択します。

Input Deck A

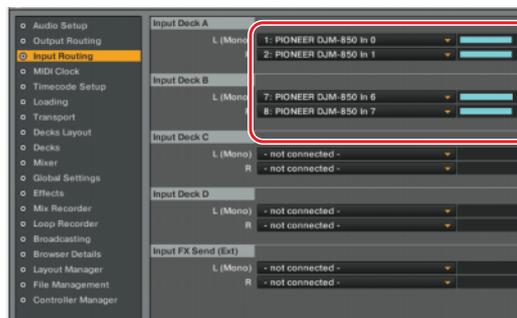
Windows Lch[DJM-850 IN1]、Rch[DJM-850 IN2] を選択してください。

Mac OS Lch[DJM-850 IN0]、Rch[DJM-850 IN1] を選択してください。

Input Deck B

Windows Lch[DJM-850 IN7]、Rch[DJM-850 IN8] を選択してください。

Mac OS Lch[DJM-850 IN6]、Rch[DJM-850 IN7] を選択してください。



以上で、DJM-850 および TRAKTOR SCRATCH 2 の設定が完了です。次の手順で動作の確認を行いません。

5 Timecode 信号を正常に検出していることを確認します。

- ① メイン画面の各 Deck のドロップダウンメニューから [Scratch Control] を選択します。



- ② CONTROL VINYL MK2 をアナログプレーヤーで再生します。
- ③ 各 Deck の Scope 画面 /Platter 画面で、TRAKTOR SCRATCH 2 が Timecode 信号を正常に認識していることを確認します。

CONTROL VINYL MK2 を再生し、Scope 画面 /Platter 画面が赤枠の状態になることを確認してください。

Scope 画面



青の円が表示されます。

Platter 画面



指示線が回転します。

- ✎ Scope/Platter の切り替えについては、TRAKTOR マニュアルをご覧ください。

以上で、TRAKTOR SCRATCH 2 のスクラッチコントロールが可能となります。

スクラッチコントロールの詳しい使い方については、TRAKTOR SCRATCH 2 に付属の TRAKTOR マニュアルを参照してください。

CDJ でスクラッチコントロール機能を使う

機器の接続

DJM-850 は最大 4 台の CDJ を接続できますが、ここでは 2 台の CDJ を DJM-850 の CH1 CD/LINE 端子、CH2 CD/LINE 端子に接続する場合を例にして説明します。

1 DJM-850 に 2 台の CDJ を接続します。

DJM-850 の CH1 と CH2 の CD/LINE 端子とそれぞれの CDJ の音声出力端子を音声（ピン）ケーブルで接続してください。

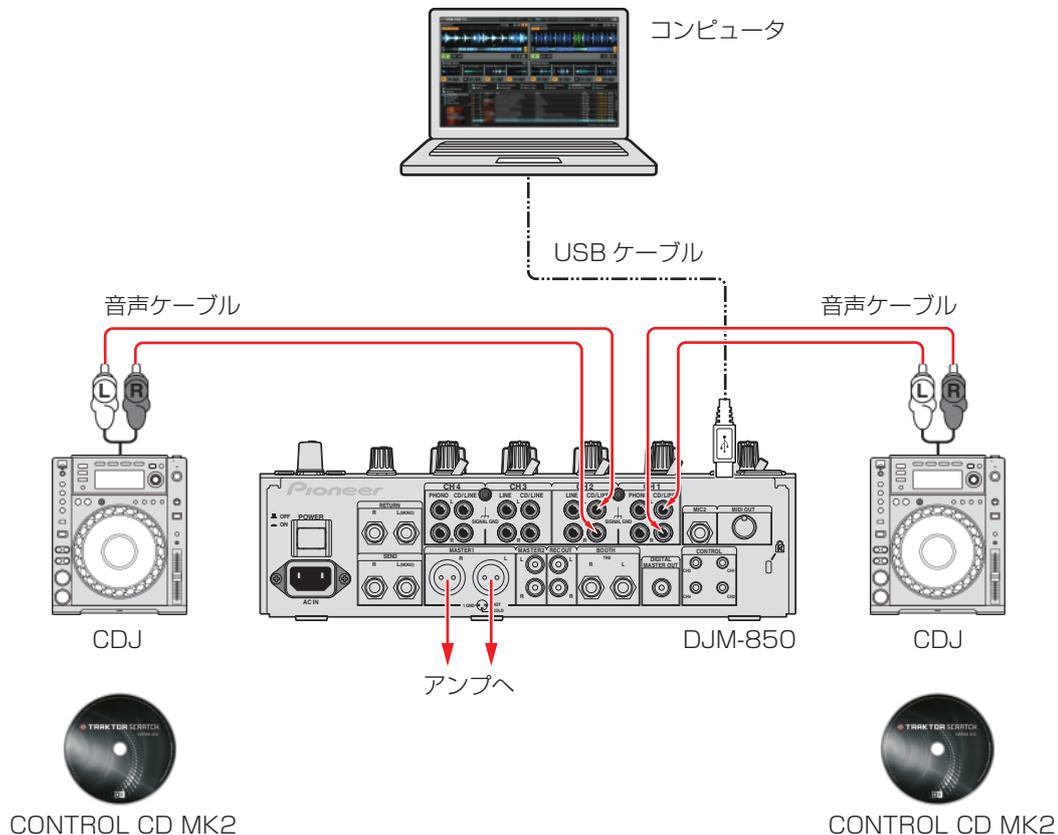


TRAKTOR の 3 台以上の Deck の楽曲をスクラッチコントロールしたい場合：

CDJ をさらに 2 台まで追加できます。CH3、CH4 の接続は以下から選択してください。

- DJM-850 の CH3 ~ CH4 CD/LINE 端子または CH3 LINE 端子と CDJ の音声出力端子を音声ケーブルで接続します。

2 機材の電源はまだ入れないでください。また、「DJM-850 設定ユーティリティ」の設定 (P.11) で DJM-850 のドライバソフトウェアをインストールするまで、DJM-850 とコンピュータは接続しないでください。



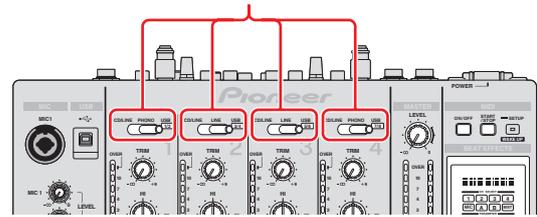
準備する機材

- TRAKTOR SCRATCH 2 がインストールされたコンピュータ
- DJM-850
- CDJ プレーヤー (× 2)
- CONTROL CD MK2 (× 2)
- USB ケーブル (DJM-850 に付属)
- 音声ケーブル (赤白ピン)
- ドライバソフトウェア CD-ROM (DJM-850 に付属)
- TRAKTOR マニュアル (TRAKTOR SCRATCH 2 に付属)

DJM-850 の入力切り換え

- 1 「機器の接続」で接続した CH1 と CH2 の [CD/LINE, PHONO, LINE, USB */*] 切換スイッチを [USB] に切り換えてください。

[CD/LINE, PHONO, LINE, USB */*] 切換スイッチ



- ✎ TRAKTOR の 3 台以上の Deck の楽曲をスクラッチコントロールしたい場合：
TRAKTOR を最大 4Deck (A, B, C, D) までコントロールできます。
CDJ を 4 台接続した場合は CH1 ~ CH4 の全ての [CD/LINE, PHONO, LINE, USB */*] 切換スイッチを [USB] に切り換えてください。

「DJM-850 設定ユーティリティ」の設定

- 1 コンピュータの電源をオンにします。

- ✎ TRAKTOR SCRATCH 2 を事前にインストールしてください。インストールの方法は、TRAKTOR マニュアルを参照してください。

- 2 DJM-850 に付属の CD-ROM から DJM-850 のドライバソフトウェアをコンピュータにインストールします。
DJM-850 専用のドライバソフトウェアと設定ユーティリティソフトウェアがインストールされます。インストールの方法は、DJM-850 取扱説明書の「ドライバソフトウェアおよび設定ユーティリティソフトウェアについて」を参照してください。

- 3 コンピュータと DJM-850 を付属の USB ケーブルで接続します。

- 4 DJM-850、CDJ の電源をオンにします。コンピュータ上で自動的に設定ユーティリティが起動します。

- ✎ 自動的に設定ユーティリティが起動しない場合は、以下の操作で起動してください。

Windows

[スタート] メニュー > [すべてのプログラム] > [Pioneer] > [DJM-850] > [DJM-850 設定ユーティリティ] をクリックします。

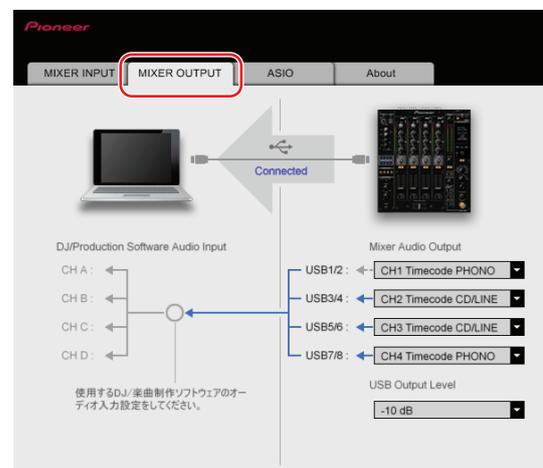
Mac OS

[Macintosh HD] アイコン > [Application] > [Pioneer] > [DJM-850] > [DJM-850 設定ユーティリティ] をクリックします。

- 5 DJM-850 の各チャンネルからコンピュータへ送信する信号を設定します。

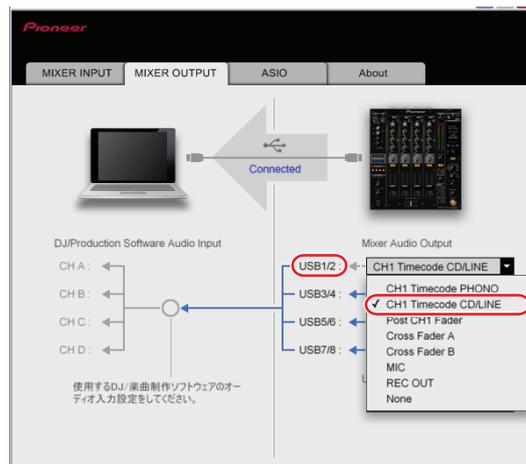
- ① [MIXER OUTPUT] タブをクリックします。

設定ユーティリティ



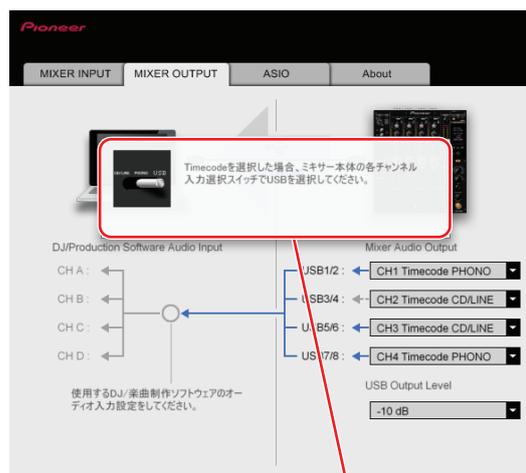
② [Mixer Audio Output] の設定で、USB1/2 に [CH1 Timecode CD/LINE]、USB3/4 に [CH2 Timecode CD/LINE] を選択します。

CH1 の CD/LINE 端子に CDJ を接続した場合



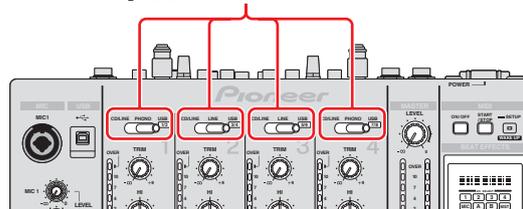
-  TRAKTOR の 3 台以上の Deck の楽曲をスクラッチコントロールしたい場合：
 CDJ をさらに 2 台まで追加できます。USB5/6、USB7/8 の設定は以下から選択してください。

USB5/6 ・ DJM-850 の CH3 CD/LINE 端子に CDJ を接続した場合	： [CH3 Timecode CD/LINE] を選択
・ DJM-850 の CH3 LINE 端子に CDJ を接続した場合	： [CH3 Timecode LINE] を選択
USB7/8 ・ DJM-850 の CH4 CD/LINE 端子に CDJ を接続した場合	： [CH4 Timecode CD/LINE] を選択
-  選択時に右図のようなポップアップ画面が表示されたら、DJM-850 の [CD/LINE, PHONO, LINE, USB */*] 切換スイッチを [USB] に切り換えてください。



ポップアップ画面

[CD/LINE, PHONO, LINE, USB */*] 切換スイッチ



TRAKTOR SCRATCH 2 の設定

1 Setup Wizard を用いて設定します。

- ① TRAKTOR SCRATCH 2 を起動し、右図の [Preference] アイコンをクリックします。



Preference アイコン

- ② Preferences 画面左下の [Setup Wizard] をクリックし、Setup Wizard を開きます。



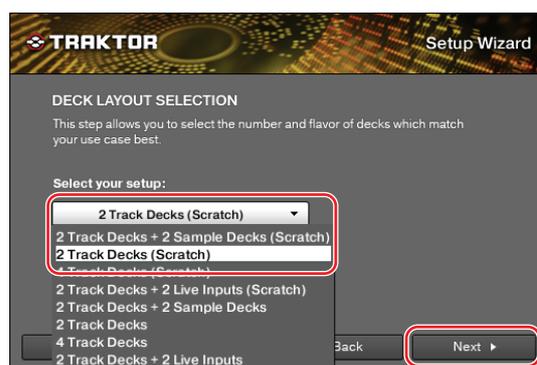
- ③ 画面右下の [Next] をクリックします。



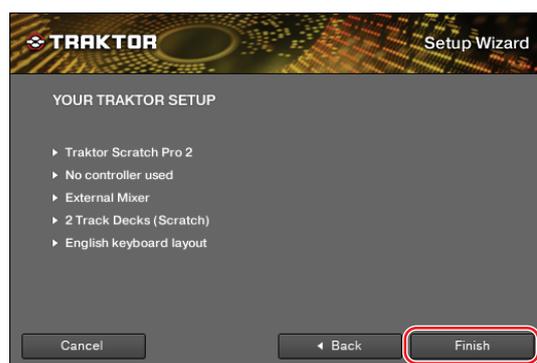
- ④ HARDWARE CONTROLLER SETUP 画面が表示されます。ここではいったん、プルダウンメニューの中から [No] を選択し、[Next] をクリックします。



- ⑤ DECK LAYOUT SELECTION 画面が表示されます。プルダウンメニューの中から末尾に (Scratch) と表記されているものを選択し、[Next] をクリックします。



- ⑥ Setup Wizard を完了します。[Finish] をクリックします。



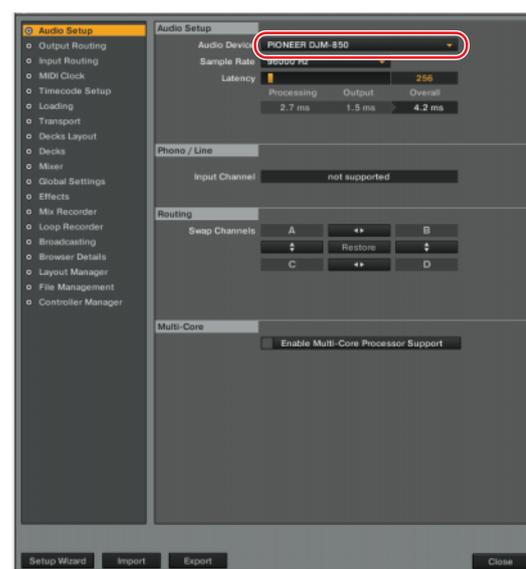
2 Audio Device を設定します。

[Audio Setup] をクリックし、Audio Device のプルダウンメニューから以下を選択します。

Windows [PIONEER DJM-850 ASIO] を選択してください。

Mac OS [PIONEER DJM-850] を選択してください。

 Sample Rate と Latency は適宜設定してください。



3 各チャンネルの出力先を設定します。

- ① [Output Routing] をクリックし、[Mixing Mode] で [External] が選択されていることを確認します。
- ② 各 Deck の音声を出力するチャンネルをプルダウンメニューから選択します。

Output Deck A

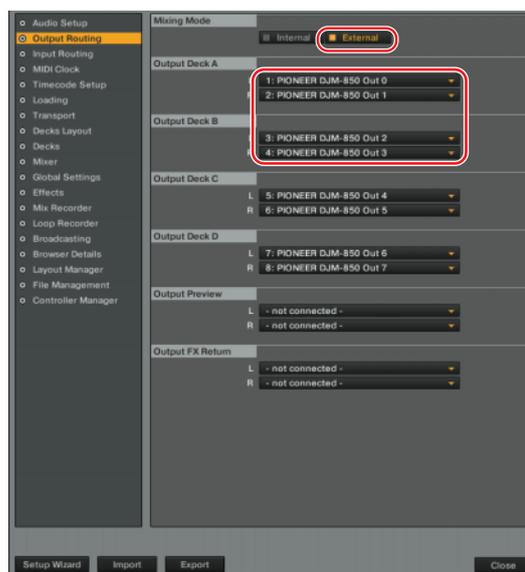
Windows Lch[DJM-850 OUT1]、Rch[DJM-850 OUT2] を選択してください。

Mac OS Lch[DJM-850 OUT0]、Rch[DJM-850 OUT1] を選択してください。

Output Deck B

Windows Lch[DJM-850 OUT3]、Rch[DJM-850 OUT4] を選択してください。

Mac OS Lch[DJM-850 OUT2]、Rch[DJM-850 OUT3] を選択してください。



-  TRAKTOR の 3 台以上の Deck の楽曲をスクラッチコントロールしたい場合：必要な台数になるよう、Output Deck C と Output Deck D も追加で設定します。(DJM-850 設定ユーティリティでも必要台数分の設定をしてください。また、CONTROL CD MK2 も追加で準備してください。)

Output Deck C

Windows Lch[DJM-850 OUT5]、Rch[DJM-850 OUT6] を選択してください。

Mac OS Lch[DJM-850 OUT4]、Rch[DJM-850 OUT5] を選択してください。

Output Deck D

Windows Lch[DJM-850 OUT7]、Rch[DJM-850 OUT8] を選択してください。

Mac OS Lch[DJM-850 OUT6]、Rch[DJM-850 OUT7] を選択してください。

-  次の手順で設定する各 Deck の入力元チャンネル (IN x/y) は、ここで設定した出力先チャンネル (OUT x/y) と同じものを選択してください。
例えば Output Deck A に [DJM-850 OUT 3/4] を設定した場合は、Input Deck A に [DJM-850 IN 3/4] を設定してください。

4 各チャンネルの入力元を設定します。

[Input Routing] をクリックし、各 Deck に入力するチャンネルをプルダウンメニューから選択します。

Input Deck A

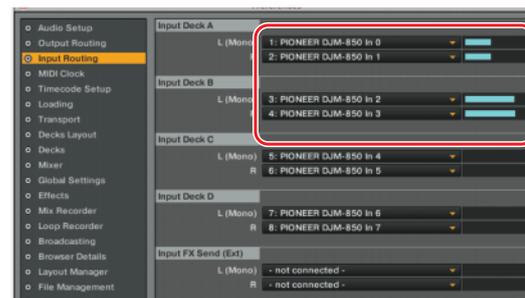
Windows Lch[DJM-850 IN1]、Rch[DJM-850 IN2] を選択してください。

Mac OS Lch[DJM-850 IN0]、Rch[DJM-850 IN1] を選択してください。

Input Deck B

Windows Lch[DJM-850 IN3]、Rch[DJM-850 IN4] を選択してください。

Mac OS Lch[DJM-850 IN2]、Rch[DJM-850 IN3] を選択してください。



-  TRAKTOR の 3 台以上の Deck の楽曲をスクラッチコントロールしたい場合：必要な台数になるよう、Input Deck C と Input Deck D も追加で設定します。

Input Deck C

Windows Lch[DJM-850 IN5]、Rch[DJM-850 IN6] を選択してください。

Mac OS Lch[DJM-850 IN4]、Rch[DJM-850 IN5] を選択してください。

Input Deck D

Windows Lch[DJM-850 IN7]、Rch[DJM-850 IN8] を選択してください。

Mac OS Lch[DJM-850 IN6]、Rch[DJM-850 IN7] を選択してください。

以上で、DJM-850 および TRAKTOR SCRATCH 2 の設定が完了です。次の手順で動作の確認を行ないます。

5 Timecode 信号を正常に検出していることを確認します。

- ① メイン画面の各 Deck のドロップダウンメニューから [Scratch Control] を選択します。



- ② CONTROL CD MK2 を CDJ で再生します。
- ③ 各 Deck の Scope 画面 /Platter 画面で、TRAKTOR SCRATCH 2 が Timecode 信号を正常に認識していることを確認します。

CONTROL CD MK2 を再生し、Scope 画面 /Platter 画面が赤枠の状態になることを確認してください。

Scope 画面



青の円が表示されます。

Platter 画面



指示線が回転します。

 Scope/Platter の切り替えについては、TRAKTOR マニュアルをご覧ください。

以上で、TRAKTOR SCRATCH 2 のスクラッチコントロールが可能となります。

スクラッチコントロールの詳しい使い方については、TRAKTOR SCRATCH 2 に付属の TRAKTOR マニュアルを参照してください。

- TRAKTOR、TRAKTOR SCRATCH PRO 2/DUO 2 は、Native Instruments 社の登録商標です。
- Windows[®]、Windows 7、Windows Vista[®]、Windows XP は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Mac OS は、米国およびその他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。